

## 第48回：テロ対策の切り札

中国の胡錦濤主席の前任者は上海閥の大立者である江沢民氏。既に引退の身ではあるが、国慶節行事や大物指導者の追悼会など冠婚葬祭の場には、いまでも胡錦濤主席に次ぐ第2位の序列で参加している。13年も続いた江沢民時代の評価に関しては諸説あるようだが、彼の時代に中国が奇跡の高度成長を遂げた事実は動かしようがない。政治家に求められるのはプロセスではなく結果であり、その意味で彼の功績は極めて大きい。さて、ここまで江沢民御大を持ち上げれば、江沢民時代に中国で大ヒットしたジョークを披露しても罰は当たらないだろう。

ワシントンで米中露の三ヶ国による緊急テロ対策会議が開かれた。

ブッシュ大統領 「テロ対策に妥協は許されない。いざとなれば米国はトマホークを使用し、テロリスト達を【鎮死】させるつもりだ！」

プーチン大統領 「ロシアもテロリストとは交渉しない。わが国もいざとなれば化学兵器を使用して彼らを【鎮死】させてやる！」

江沢民主席 「中国もテロ勢力とは決して妥協しない。但し、わが国は文明国であり、爆弾や毒物等の野蛮な武器は使わない。テロリストどもを共産党会議に招待し、吾輩の“三つの代表理論”を聞かせ、やつらを【鎮死】させてみせよう！」

(注) 【鎮死 = Fan Si】とは中国語で「屈辱で死にそう、うざりたい」の意

2001年7月1日、当時の江沢民総書記は共産党創立80周年行事で演説し、「三つの代表」という重要思想はマルクス・レーニン主義、毛沢東思想、鄧小平理論の継承・発展であり党建設を強化・改善し、わが国の社会主義の自己完備と発展を推進する強大な理論武器である」と述べた。「三つの代表」を細かく解説すると読者が【鎮死】する可能性があるのが割愛するが、この理論武装により、翌2002年の党大会で、党規約上の入党資格者が「…及びその他革命分子」から「…及びその他社会階層の先進分子」に変わり、事業家や資本家の入党が可能となった。その狙いは、むかし敵対階級であった資本家を内部に取り込み、共産党を将来の国民政党に変えていくことにある。孫呉の兵法も裸足で逃げ出す深慮遠望であり、格調高い理論構成となっているが、六朝駢儷体で飾ったスコラ哲学のような理論を聞かされる党员たちにとっては【鎮死】以外の何物でもないようだ。

国民党から共産党の時代に移り、いったい何が変わったか？国民党時代、国民は重税に苦しめられた。共産党の時代になり（いまは違うが）税金が廃止され、人民の生活は楽になった。しかし、党员たちは延々と続く会議に苦しめられるようになった。

おい、地獄ざ行(え)ぐんだ」で始まる小林多喜二の『蟹工船』。むかし日本のプロレタリアーHは厳冬のカムチャツカ沖に乗り出し、蟹カゴを海に投げ入れた。劣悪な労働環境のなかで、蟹が獲れなければ何度

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。



も何度も投げ込んだ。

ところが中国のプロレタリアートは違う。蟹が獲れなければ何度も何度も漁場で党支部主催の思想会議が開催される。

船上で思想会議を開くよりは、もう一回カゴを投げ込んだ方が獲れる可能性は高いと思うのだが、むかし党内の会議に参加しなければ「資本主義の道を歩む修正主義分子」として批判されたのだろう。まさか漁場で会議は開かないとは思いが、漁船の中にも党支部があるのは事実である。下手なジョークの連発で恐縮だがこんな作品もある。

某市の共産党支部が大会を開き、党書記が弁舌を振るっていた。もちろん政治秘書に書かせた原稿の棒読みで、指を舐め舐めページをめくる。

諸君もよく知っている通り、毛沢東主席は人の思想についてこう喝破した。「人の正しい思想はどこから来るのか？それは天から降ってくるのだ～！！」

演台をこぶして叫んだところで満場万雷の拍手が巻き起こる。党書記は満足そうに胸をそらして党员たちを見回したあと、おもむろに次のページをめくり、慌てて付け加えた。

天から降ってくるのだ……うか？ そうではない。人の正しい思想は、ただ社会的実践の中からのみ生まれてくるのである……」

(注) 「人の正しい思想はどこからくるのか」毛沢東(1963年5月発表)

会議もマンネリ化すればしゃべる方も聞く方も草臥れ果て、締まりがなくなるものである。世の中に延々と続く会議ほど業務の効率を阻害するものはない。そのために書類を回付することによって意思決定を行う「稟議」という制度がある。それでも会議を招集する必要があるならば、場合によっては Standing Session、つまり立ったまま、短時間でやればよい。部長のデスクの前に課長数名が立ち並び、定例の打ち合わせを行う。もともとは軍隊や警察のやり方だが、効率を重視する企業でこれを採用するところは多い。

やたら大人数の会議を招集し、二言目には「情報はみんなで共有しよう」という上司は、若い部下の受けは良いかもしれないが、実は相当ヒントがずれている。全員で共有すべき情報が多いことを否定するものではないが、機密情報は知る必要のある人に、それを伝えて初めて価値が生じるものであり、必要のない人には伝えてはならない。特に内部統制や情報管理の重要性が叫ばれている昨今においては尚更である。知る必要がある人にもみ伝える「Need to know」こそが危機管理の要諦なのである。

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成22年4月21日

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号  
日本証券業協会 加入  
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### 株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2075% (税込み) (約定代金が 260,869 円以下の場合、3,150 円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### 債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集、売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### 投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.20% (税込み) (約定代金が 2,625 円に満たない場合は、2,625 円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。